

雑 報

1980年度水理実験センター年次研究報告会記事

1980年度水理実験センター年次研究報告会は1980年12月19日、水理実験センターに於いて開催され、18の口頭発表が行なわれた(プログラム参照)。口頭発表者は、センター員、センター利用者、およびセンター員と共同研究を行なった研究者に限られているが、センターの利用者や共同研究者が増加するとともに、今後、一層多くの人々の参加が期待される。口頭発表の行なわれた論文のうち、6編は、この水理実験センター報告第5号に収録されている。論文の公表されなかったその他のものについては、以下に収める講演要旨をもってその代わりとする。

プログラム

(1980年12月19日、於、水理実験センター)

9:25 開会の辞

センター長 井口正男

1) 9:30~9:50 SATとCUPによる風速の比較

黄水鎮^o・林陽生

2) 9:55~10:25 主として冬期における熱収支に関する気候学的研究

吉野正敏

1. 熱収支要素の日変化

鳥谷均

2. 最低気温の出現過程について

仲谷宏

3. 接地逆転層の形成過程について

寄崎哲弘

3) 10:30~10:50 水位変動に伴う砂層内の水分変化に関する実験的研究

出口賢二^o・古藤田一雄

4) 10:55~11:15 湖面、芝生面、森林面における各種放射項の相互比較

及川武久

5) 11:20~11:45 植生面からの蒸発散について

中川慎治

6) 11:50~12:10 乱流スペクトルから推定される粘性消散率について

甲斐憲次

昼 食

7) 13:15~13:25 研究学園都市の深井戸孔内温度測定について

佐倉保夫^o・山口雄作・松林修

8) 13:30~13:50 野外土槽中の不飽和土の水分特性

開発一郎^o・佐倉保夫^o

9) 13:55~14:15 野外実験土槽における観測結果(1979, 4~7)

一浸透過程と地中温度変化— 佐倉保夫^o・開発一郎

10) 14:20~14:40 自記テンションの試作

佐藤朗^o・田中正・樫根勇

11) 14:45~15:05 大型水路による砂礫堆の特性に関する実験

池田宏

12) 15:10~15:30 粗粒砂礫のふるいわけに関する予察的研究

井口正男

休 憩

13) 15:45~16:05 波による砂浜海岸の地形変化に関する研究

武田一郎

14) 16:10~16:30 二次元造波水槽中にみられる bedform について

砂村継夫

15) 16:35~16:55 波による砂浜海岸の変形に関する実験的研究

倉田雄司

16) 17:00~17:20 沖浜帯における混合粒径砂の浮遊に関する実験

川又良一

17) 17:25~17:45 筑波台地の地形発達

水谷香

18) 17:50~18:10 那珂川下流部の沖積平野の地形について

三上靖彦

18:15 閉会の辞

センター長 井口正男

^o印は口頭発表者